

一般質問(要旨)

鈴木 えつお

4年でやりますの公約
守り、水道局用地への
市民運動場整備を

都に行つて和泉多摩川緑
地の都立公園化を要望し
てきた。都立公園化はすぐには
できなくても、その展望があれば、
水道局用地の一部を借りて市民
運動場を整備できるのでは。

大きな目標に向つていく
過程の中で暫定的な利用
ということもあり得ると考える。

加入者の多くが低所得
者であり、国保税値上
げは抑えるべき

国保会計が2億円余の赤
字だが、加入者の52%が
所得100万円以下の低所得者
であり消費税8%への増税もあ
る。新年度予算では基金等活用
して値上げを抑えるべき。

国保財政健全化計画の三
つの柱、税の徴収強化、
医療費の適正化、保健事業の推
進をまずは優先的に考えている。
健全化計画の取り組みをさらに
進めるよう指示したところ。

婚外子への差別や寡
婦控除のみなし適用で
保育料の減額を

最高裁が婚外子への差別
は違法と決定した。新宿
区などは寡婦控除のみなし適用
で保育料等を減額している。狛
江市の影響額はいくらか。早急
に実施すべきではないか。

寡婦控除のみなし適用の
保育料の影響額は2名で
13万2千円。保育料に限らず影
響するところもあり、慎重に考
える必要がある。

岡村 しん

安心安全な街づくり
について

①家の中でも防災行政無
線が聞こえる個別受信機
の貸し出しを②松場通りの路側
帯カラー舗装を③戸建て住宅の
老朽化したガス管交換に、耐震
工事の補助を活用できないか。

①検討する。②計画に
入っていないが、交通量
の多い路線であるので、今後の
検討課題にしたい。③来年度以
降の制度設計の参考としたい。

増税から市民・市内業
者を守る対策を

①プレミアム商品券の発
行をできないか②新たに
できる市民食堂や給食センター
に地場野菜の使用を③なんに
でも使える単独のリフォーム助成
を再開してほしいが。

①商業者全体の底上げと
なる提案が商工会からあ
れば検討②生産者の意向を踏ま
え使用していく。積極的に使用
する準備を進めている③現在の
ところ、単独実施の予定はない。

宮坂 良子

基本的な人権・生存権を
保障する立場での徴収
行政を

差し押さえが強まり助け
てとの悲鳴。①差し押さ
えの件数は人口比で何位か②児
童手当、給料の全額は禁止され
ている。違法では③憲法の生存
権を守る立場での丁寧な徴収を。

①26市で一番。②預金口
座に振り込まれた場合は
預金債権となり、差し押さえは
禁止されていないと認識。③税
負担の公平性確保の観点から公
正かつ厳正に徴収していく。

北部地域に
児童館開設を

子どもたちの体力・運動
能力が低下している。①
児童館の位置づけや市の役割は。
②2館の利用地域は。③たくさ
んの要望があり、市長公約でも
ある北部地域に児童館建設を。

①安心して遊べる場の提
供。子育て支援活動の展
開。②和泉児童館は和泉小、岩
戸児童センターは三小が多い。
③北部の児童館不足は認識。4
年間で道筋をつける。

西村 あつ子

公立保育園の
民営化について

①民営化ガイドラインは
職員配置基準等、具体的に
に記載すべき。②ガイドライン
はパブリックコメントの実施を。
③法人が選定基準に達しない場
合は。

①園ごとに保護者意見も
募要項で。②きめ細かい説明や
保護者との協議で対応。③達し
なかった原因を検証し再公募を
行うかを含め検討する。

子育て支援について

①一時保育拡大は。②気
軽に一時保育が利用でき
るよう表記すべき。③認可保育

園増設の目的は。④定員に余裕
のある学童で4年生の受入れを
早急にすべき。

①宮前保育園、和泉保育
園の民営化で一時保育事
業の拡充を図る。②わかりやす
く見直しを図る。③来年度を目
途に考えている。④研究課題と
する。

リサイクル社会の
推進に向けて

①学校と保育園から排出
された廃食用油の排出量
と処理状況は。②他自治体のよ
うに家庭から排出される廃油の
回収を。③バイオディーゼル燃
料の有効性は。

①1校で年間約1500
リットル、1園で約300リットル
購入。揚げ物の廃油はリサイクル
処理。②排出量が少なく回収シ
ステムの構築も困難。③地球温
暖化対策に有効だが課題がある。

田中 智子

小学校給食調理委託に
ついて

①事業者の募集状況。②
選定の基準は。③事業者
の実際の現場視察を行うなど慎
重な検討を。④委託実施後も十
分な検証を。⑤保護者や議会に
向け早期に試食会を行うべき。

①18事業者から参加表明
を参考に選定委員会等での意見
を参考に。③事業者についての情報取
集に努める。④検証は重要と考

障がい者施策の充実を

①障がい者への「サービ
ス利用計画書」の作成状
況。②難病者への支援拡大を。
③小型家電回収実施で障がい者
の仕事確保を。④ばるの定員拡
大と発達支援センターの設置を。

①24、25年度で100件
の見込み、26年度は全力
を尽くして対応。②対象疾患以
外の方には相談支援という形で
対応する。③今後検証をすすめ
る。④ばるの拡充も含めて検討
する。

小野寺 克己

大規模災害発生時の
防災情報提供について

①正しい情報を提供する
ための周知としてどのよ
うに取り組む必要があるか。②
高橋市長になって訓練内容が変
わったところは何か。③東京防
災隣組への取り組みについて。

①情報ツールの有機的な
活用をお願いする。②広
域自治体・隣接自治体との連携
強化、自衛隊参加等。③今年度
一団体を推薦。

広報にAR技術導入を

①暮らしの便利帳の発行
予定は。②広報こまえの
市長コラムをホームページへの

掲載検討を。③広報でスマート
フォンを使って動画が見れるAR
導入について市の考えは。

①来年度に発行予定。②
掲載場所、方法等含めて
検討する。③先進市の取り組み
方法、費用対効果等を調査・研
究して判断する。

歩行者移動支援に関す
るユニバーサルデザイ
ンの推進

①思いやりベンチの事業
内容は。②「ココシル
こまえ」を国の助成で開発する
こととなった経緯とは。

①寄附者の思いを入れた
メッセージプレートも貼
付して市で設置予定。早期に実
施していきたい。②ユニバーサ
ル社会へのソフト面の対応を図
る必要があったため。

石川 和広

健康長寿を目指す健康
維持増進の取り組みに
ついて

健康維持増進について、
複数の事業を束ねた包括
的な取り組みを行う計画の体系
化が必要であり、そこから施策
展開を図っていくように転換が
必要な時ではないか。

市民の健康増進は活力あ
る狛江づくりに欠くこと
ができず、医療費の適正化や財
政健全化にも寄与する。ご指摘
のとおり総合的な観点に立った
施策展開が重要であると考え